



## センターニュースをお読みの皆様へ 副院長 磯田 功司

平成21年4月に赴任して以来7年が経ってしまいました。途中体調を崩したこともあり、また大学卒業後は整形外科臨床医一筋で過ごしてきたこともあり、島田での仕事は当惑することが多くご迷惑をおかけしました。皆様の力を借りながらなんとか過ごしてきましたが、ようやく重症心身障害のなんたるか島田のなんたるかが解りかけたところです。もともと力不足では

ありますが、職員の方々の熱意と利用者様をおもう心に励まされて今後も障害を持った方の医療に頑張りたいと思います。また、現在島田は多難の時を迎えており職員一丸となって困難を乗り越えていかねばなりません。管理職の一端をけがすものとして微力ではありますが努力を続けたいと思います。

### 平成28年度日本重症心身障害福祉協会 全国施設協議会 参加報告

平成28年5月19日(木)、20日(金)の二日間、大阪国際交流センターに於いて近畿ブロック主催で開催されました。

#### 1日目

午前中に永年勤続及び重症心身障害認定看護師合格者の表彰式と定時総会が開催され、引き続き協議会となりました。

厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課障害児・発達障害者支援室 障害福祉専門官の田中真衣氏より「障害児支援について」行政が考える在宅支援の方向、障害者総合支援法の施行3年後の見直しについて、短期入所の在り方等アンケート結果も交え、めまぐるしく変わる支援に関する制度の説明がありました。

協議会では緊急テーマとして、平成28年熊本地震において最も被害が大きかった施設、くまもと江津湖療育センター、センター長興梶ひで氏より「災害とどう向き合うか」という議題で震災時の状況、被害の状況等の説明がありました。施設ではスプリンクラーが故障し作動してしまっただけでなく、天井の破損があった事、自宅が被害を受けた職員とその家族への施設の開放、今回は近隣施設の応援がすぐに行われたので、飲み水の確保などが非常に助かった事、前線基地を設ける事が救援物資の受け入れ流れをつくるのに役立った事、今はネットの力があり、支援物資はすぐに集まったが、それを管理しきれなかった、在宅の方の管理には、日頃から関わりがあるコーディネーターが必要等、反省点も含め発表がありました。

#### 2日目

シンポジウムでは各施設より「これからの挑戦」というテーマで5題の発表がありました。

①「ローリングベッドを実践してみて」では在宅の方は必ずしも入所を希望されているのではないかもしれないという考えから始められ、体調の悪い時の一時入院等有期入所を、行政を含め検討し実施にこぎ着けた事、細かいメリット、デメリットしくみ等の報告がありました。

②「重症心身障害者の為のグループホームの課題」では対象者が重症心身障害者である事から、入所施設に隣接し緊急時の対応が出来る事、障害支援区分、重度障害児スコアの基準を決め始められ、基本的な入居利用者の意思を尊重する生活を目指している中での課題点の発表がありました。

③「国立病院機構重心病棟と療養介護事業の現状と課題」では、入所利用者の高齢化と重症化、ポストNICU児への取り組みと課題、在宅重症心身障害児者への取り組み、病院組織としての「足枷」、マンパワーの確保と専門性の向、について報告がありました。

④「在宅超重症児支援を目的に医療型障害児入所施設を開所してみて」では入所利用者の高齢化と重症化、ポストNICU児への取り組み、在宅重症心身障害児者への取り組みと課題について統計グラフを用いた説明がありました。また、重症心身障害者、筋ジストロフィー及びALS等の神経難病を療養介護事業の対象として各施設が持つ機能や地域ニーズに合わせた取り組みが行われている事の報告もありました。

⑤「病院が中心となった小児在宅医療支援—シームレス、ボーダレスな小児医療を目指して」出産前から退院までの関わりの流れが連携して行えるようなシステムのご説明と医療的ケアが必要な子供の退院支援、病院地域連携の病院としての役割のご説明がありました。

最後に今後も継続審議が必要である、重症心身障害児・者施設の在り方、療養介護も含めてを堺市重症心身障害者(児)支援センター、センター長児玉和夫氏より問いかけがあり終了しました。午後は各委員会、東西両協議会からの報告があり無事に終了致しました。参加施設123施設、参加者397名。次回開催は5月17日から19日までの3日間旭川で開催予定となります。

(事務部次長 森久保 真由美)

6月の

## 全体行事あれこれ

### 6月1日(水) デイケアセンター「運動会」

幼児部・青年部合同で競技を楽しみました。紅組と白組に分かれ、「ボール送り競争」で盛り上がりました。穴あき新聞紙の上を、みんなで必死に転がしました。午後は、「ご家族向けハンドマッサージ」を体験して頂きました。



### 6月2日(木) 1病棟「運動会」

晴天の青空の下、グラウンドの競技からスタートしました。手作りガンダムに水鉄砲で水をかけたり、全員で大変盛り上がりました。午後は厚生棟で玉入れの的当てゲームで楽しみました。笑顔いっぱいの1日でした。



### 6月7日(火) 2病棟「初夏の茶話会」

厚生棟を会場に、利用者様・ご家族・職員が一堂に会して初夏の茶話会を行いました。利用者様全員の1日を撮った素晴らしいスライドショーを鑑賞したあとは、お花が添えられたテーブルで懇談しました。



### 6月9日(木) 3病棟(西)「大遠足」

「宇宙旅行に行こう」をテーマに計画しました。厚生棟で宇宙船レクリエーションを体験しました。木星でのオーロラ見学や火星人との遭遇など、利用者様も初体験を楽しみました。全員無事に地球に帰還しました。



### 6月14日(火) 5病棟「親睦会」

午後のひとときを厚生棟で楽しく過ごしました。映像と読み語りを工夫した「オリジナル昔話」の次は、人形劇～『ぱびゅペボン』の皆様による熱演を鑑賞しました。利用者様・ご家族の楽しそうな笑顔がたくさん見られました。



### 6月15日(水) 7病棟(西)「大遠足」

天候が思わしくなく、厚生棟を中心にレクリエーションを楽しみました。「金太郎」と「かさ地蔵」のシアターを鑑賞し、お話にちなんだクイズを元にセンター内を散策しました。室内でも充分楽しんだ大遠足となりました。



(編集委員 高橋 節夫)

みんなでつくろう・楽しもう

## Early Summer Festival

井上鑑組  
2016による

7月13日(水) 午後、厚生棟にて井上鑑様とバンド・ボーカルチームによる熱いコンサートが開催されました。キーボード(井上 鑑)、ボーカル(やまがたすみこ、松本英子、田中雪子)の他ピアノ・ドラム・ギター

等で総勢13名の皆さんが出演してくれました。

コンサート中盤では、第6病棟の音楽クラブの利用者様・職員とのセッションが演出され、会場の盛り上がりは最高でした。「ルビーの指環」と「ぶらんこ」の歌を全員で合唱し、ステージと会場の参加者が一体となった素晴らしいコンサートでした。

(編集委員 高橋 節夫)



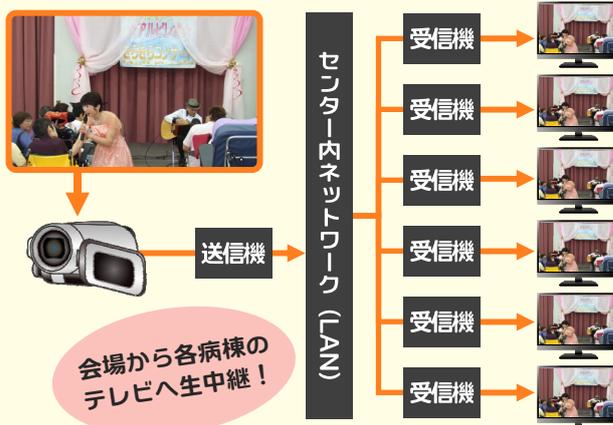
## ☆アルビレオ☆

# きらきらコンサート

6月25日(土)の午後、厚生棟にてコンサートを開催しました。☆アルビレオ☆のお二人が、ボーカルとギター演奏で楽しい歌のプレゼントを届けてくれました。そして、盛り上がっている会場の様子が“映像ライブ中継”として全病棟に配信されたのです。当センター初の試みは大成功で、病棟内でも厚生棟でも利用者様の笑顔でいっぱいでした。

(編集委員 高橋 節夫)

## ライブ中継のイメージ



## 平成28年6月29日 於 厚生棟 中核職員研修発表会

これからの島田を支えてゆく人材育成の一環として平成27年度に毎月行われた中核職員研修で、主に経営の勉強をしました。その総括として、職種ごとに中長期の事業計画を考え、森久保事務次長の司会進行で研修成果の発表を行いました。

### 1. 医務部

「障害がある人もない人も人生を楽しめるコミュニティ」「どんな人も学び、伸びる事ができる環境」「障害者が社会に貢献できる環境」を理想とし、生命の安全は病院、健康維持は訪問診療所、生活基盤はグループホームが担い、病気や障害があっても、介護できる家族がいなくても暮らせる「家」という場を作る為の具体的なアクションプランが提案されました。

### 2. リハビリ

①島田療育センターの5年後建て替え(着工)を目標とする増収、②2021年の「社会福祉法人制度改革」への対策を長期目標に据え、現状の分析、事業展開の必要性、具体的なリハビリの事業計画、アクションプランが提案されました。

### 3. 療育部 看護師

少子高齢化、景気低迷、診療報酬改定、介護報酬の引き下げ等、変化する社会情勢の中で島田がどう生き残るのかサステナビリティ(持続可能性)を検討。日本屈指の重症児者施設として存在を継続する為に、施設建て替え、優秀な人材の採用と育成が必要であると考え、主に人材採用と人材育成を主眼に具体的なアクションプランが提案されました。

### 4. 療育部 療育士

50年以上になる療育の歴史を強みとしてPRし、「島田療育センター」というブランド力を向上させ「選ばれる療育を目指す」を目標とし、①利用者や家族、一人一人のライフスタイルに合わせた建物作り、②利用者の暮らしを支える療育をさらに質の高いものにする、③療育

を通して社会、地域へ貢献するという3点をポイントにアクションプランを立て、具体的な工程表が提案されました。

### 5. 外来・発達支援事業

#### 外来診療

初診までの待機期間短縮や時間外でも申し込みやすい環境作りにより、平成27年度の初診件数は過去最多となったが、受診に必要な紹介状の取得がハードルとなっている可能性がある。とした上で①年間初診800件、②新規利用者獲得のためのシステム構築、③受け入れシステムの見直し、④他機関の情報収集がアクションプランとして提案されました。

#### セブクロバー

7~8割が継続利用またはフォロー対応。希望内容の内訳は一定であり検査、行動観察、グループ参加等に一定のニーズ。幼稚園、保育園や学校からの紹介が多いと言う事でクリニック、保健センター、発達支援室とのつながりを強化し、近隣5市だけでなく相模原市や府中市へも広げていく。行政に働きかけ利用者が使いやすいように一部負担制度を構築する。多様化する労働条件に合わせ、土曜日の営業を考える。等が提案されました。

### 6. 事務部・栄養管理部

①訪問事業(診療・看護・リハ)の強化、②「かかりつけ医」のポジションを確立、③人事部門の設置、④医療情報の共有、連携の基盤整備の検討を目標として具体的なアクションプランが提案されました。

最後に木実谷院長より、国の方針は入所から在宅、地域へというのが顕著であるので、これまでのように入所に頼った経営から地域、在宅へも広げて行かなければならない。

世間や国の動きを見ながら情報を先取りし、利用者様の笑顔が続き、ご家族に良かったと言ってもらえる地域の存在であり続けるために、これからも勉強し努力していただきたいと思います。という講評を頂きました。

(編集委員 中野 智子)



# おしらせコーナー



## 島田わいわい祭り2016を開催します！

今年も島田わいわい祭りを開催いたします。ゲームや氷の彫刻、花火などを企画しています。

入所・デイケア利用者様のデザートと夕食はお祭りメニューを考えています。どんなメニューがでるか楽しみにしててください。

地域の方向けには、地域の事業所のみなさまなどにご協力いただき、模擬店もご用意します。

みなさま、お誘い合わせの上お越しください。みんなでわいわい盛り上がりましょう！



日時：9月10日（土）

場所：島田療育センター（グラウンド・外来など）

時間：入所・デイケア利用者様 13：30～18：45

地域・一般参加者 16：00～18：45

### スケジュール

13:30～ 病棟出張イベント

15:00～ お出かけイベント（病棟・デイケア）  
ゲーム（黒ひげ・ジャンボパチンコ・パチスロなど）

16:00～ グラウンドオープン（地域・一般開放）  
ゲーム（黒ひげ・ジャンボパチンコ・パチスロなど）  
飲食関係の模擬店オープン（パン、うどん、  
やしそば、フランクフルト、綿あめなど）

18:30 花火（センター内ライブ中継あり）

18:45 終了



## 利用者様の実費負担の変更がありました

既にお手紙にてお知らせしておりますが、平成28年4月より下記の費用を利用者様にご負担いただくことになりました。

- 他医療機関への受診・入退院時の移送及び付添いの費用
- 退院時の手続き、入院先への衣類・紙オムツ等お届けの代行費用
- 個別の加工が必要な衣類の、縫製加工の費用

また、紙オムツ代については使用量の段階ごとではなくご使用枚数にて個別にご請求させて頂いております。

## ゆるゆう会～音楽療法～のお誘い

支援部では音楽療法士の先生による、音楽療法を実施しています。対象は重度重複障害のお子さん（小学2年生まで）と保護者です。

リズムに合わせて体のマッサージをしたり、楽器を使って色々な音色を感じたりと盛りだくさんです。お誘い合わせの上、是非ご参加下さい。お待ちしております。

講師：福井 友子先生、須崎 由美子先生

日時：8/30、9/13、10/4、11/15、12/20、  
1/17、2/14、3/28（全て火曜日です）

時間：10:00～11:00

参加費：¥1,000（1家族）

定員：6名（各回）

お問い合わせ：042-374-2101（支援部）



## shot! ひと息

テーマ 「夏へ向けて」 （ほっとステーションB室）



## 実習受入状況

平成28年6月～7月

種別	人数	種別	人数
看護師	41名	医師	2名
介護福祉士	12名	作業療法士	2名
保育士	2名	言語聴覚士	1名

※介護等体験実習の数は含まません

発行者 社会福祉法人 島田療育センター  
日本心身障害児協会  
〒206-0036 東京都多摩市中沢1-31-1

TEL 042 (374) 2071 (代表)

URL <http://www.shimada-ryoiku.or.jp>

